

SDGsの取り組みPR

記入日：2022年11月14日

| | |
|---------------|--|
| ① タイトル | 大垣市民会館 SDGs ワークショップ「それいけモザイク！大お絵かき」の実施 |
| ② 関連する ゴール |  |
| ③ 目的・概要 | <p>大垣市民会館では、持続可能な開発目標(SDGs)の取り組みを行っており、その1つとして、今年度は3つの事業を実施した。</p> <p>本ワークショップでは、会館にある大垣ゆかりの作家の作品と関連するワークショップとし、地域にゆかりのある講師を招いた。また、制作作品の材料として地元企業から提供を受けた廃材を利用し、参加者それぞれの個性を生かした大きな作品を制作するワークショップを開催した。</p> |
| ④ 詳細 | <p>【取組内容】 2022年10月9日(日)・10日(月・祝) 13:00～16:30の2日間連続のワークショップ。モザイクについて学び、モザイク画のパーツ作成、下絵描き、貼り込みを行い、大きな作品の制作を行った。</p> <p>① 本ワークショップの講師には、令和3年3月に大垣市役所南のビルに描かれたモザイクアート壁画を制作し、モザイクという独自の技法を使った作品制作を行っている、清水温度氏(揖斐川町出身、IAMAS 卒業)を講師として迎えた。</p> <p>② 会館内のホールホワイエにあるモザイク壁画(大垣市出身の洋画家・矢橋六郎作)を参加者で鑑賞したり、モザイク技法についても学んだりして、地域の作家作品やアートの技法への興味関心を高める機会とした。</p> <p>③ 作品制作の台紙として使用するキャンバスには、大垣市内の企業・サンメッセ株式会社より提供された廃材のロール紙を繋げて、大きな用紙に仕立てて使用した。</p> <p>④ 参加者それぞれに描いた絵を組み合わせ、それぞれの個性を生かした大きなモザイク作品を制作した。参加者全員で協力し仕上げる過程では、参加者同士の交流機会ともなった。</p> <p>⑤ 完成作品は、(公財)大垣市文化事業団が管理・運営をする大垣市スイトピアセンター内 アートギャラリー前通路に展示。(10月15日・土～11月6日・日)展示期間中のアートギャラリーでは、「大垣市コレクション展矢橋六郎と大理石モザイク」を開催しており、ワークショップの成果紹介とともに会館の作品紹介にも繋げた。</p> <p>【業務目標】 地域資源活用・PR、環境問題への意識向上、交流体験</p> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会館にあるモザイク壁画が知られておらず、本ワークショップ・成果展示をすることで、PRする機会となった。 ・本事業を通して、大垣市文化事業団として、17あるSDGsの目標の中でも様々な分野から事業を考え、取組むことができた。 |



| | |
|---------|--|
| | <p>【連絡先】</p> <p>(公財)大垣市文化事業団 事業課 事業係 / 大垣市民会館</p> <p>電話 : 0584-82-2310 / 0584-89-1111</p> <p>E-mail: arts-sec@og-bunka.or.jp / shimin@og-bunka.or.jp</p> |
| ⑤ 関連URL | <p>https://www2.og-bunka.or.jp/event/data_1188.html</p> <p>https://www2.og-bunka.or.jp/event/data_1231.html</p> <p>https://www2.og-bunka.or.jp/event/data_1226.html</p> |
| フリガナ | コウエキザイダンホウジン オオガキシブンカジギョウダン |
| 会員名 | 公益財団法人 大垣市文化事業団 |